

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 24 日 (2020.12.24)

【公開番号】特開 2019-84175 (P2019-84175A)

【公開日】令和 1 年 6 月 6 日 (2019.6.6)

【年通号数】公開・登録公報 2019-021

【出願番号】特願 2017-216132 (P2017-216132)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 6 日 (2020.11.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態に制御するか否かを決定する決定手段と、
演出を実行可能な演出実行手段と、
可変表示の実行を特定可能な信号として、第 1 可変表示特定信号と第 2 可変表示特定信号とを出力可能な信号出力手段と、
を備え、
前記演出実行手段は、

前記有利状態が終了してから所定期間の可変表示が実行されるまでの期間に対応した所定期間内に前記決定手段によって前記有利状態に制御することが決定されたことに基づいて、該所定期間の経過後に前記有利状態に制御されることを報知する特定報知演出を実行可能であり、

前記所定期間中において特別演出を実行可能であり、

前記信号出力手段は、

前記所定期間内において前記有利状態に制御されない可変表示が実行される場合に前記第 1 可変表示特定信号を出力するが前記第 2 可変表示特定信号を出力せず、前記所定期間外において前記有利状態に制御されない可変表示が実行される場合に前記第 1 可変表示特定信号を出力するとともに前記第 2 可変表示特定信号を出力し、

前記所定期間内において前記有利状態に制御される可変表示が実行される場合と前記所定期間外において前記有利状態に制御される可変表示が実行される場合に前記第 1 可変表示特定信号を出力するとともに前記第 2 可変表示特定信号を出力する、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明の手段 A の遊技機は、

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当り遊技状態）に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機１）であって、

前記有利状態に制御するか否かを決定する決定手段（例えば、ＣＰＵ１０３が特別図柄プロセス処理を実行する部分）と、

演出を実行可能な演出実行手段（例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０が演出制御プロセス処理を実行する部分）と、

可変表示の実行を特定可能な信号として、第１可変表示特定信号と第２可変表示特定信号（例えば、図８－８に示す特殊図柄確定信号）とを出力可能な信号出力手段（例えば、ＣＰＵ１０３が図８－１２に示す特別図柄停止処理の１１３ＳＧＳ２０９や１１３ＳＧＳ２２０、１１３ＳＧＳ２２１の処理を実行する部分）と、

を備え、

前記演出実行手段は、

前記有利状態が終了してから所定期間の可変表示が実行されるまでの期間に対応した所定期間（例えば、スペシャルゾーン中）内に前記決定手段によって前記有利状態に制御することが決定されたことに基づいて、該所定期間の経過後に前記有利状態に制御されることを報知する特定報知演出（例えば、図８－２２に示すように、スペシャルゾーン中に変動表示結果が大当りであり且つ大当り種別が確変大当りＢや非確変大当りである場合に、当該変動表示においてスペシャルゾーンを終了した後に小図柄や飾り図柄を大当りを示す組み合わせで導出表示する部分）を実行可能であり、

前記所定期間中において特別演出を実行可能であり（例えば、図８－２３に示すように、画像表示装置５において大当り遊技中の画像１１３ＳＧ００５Ｘが引き続き表示される部分や、変形例２として図８－２８に示すように、スペシャルゾーン中では飾り図柄が非スペシャルゾーン中とは異なる態様で変動表示する部分）、

前記信号出力手段は、

前記所定期間内において前記有利状態に制御されない可変表示が実行される場合に前記第１可変表示特定信号を出力するが前記第２可変表示特定信号を出力せず、前記所定期間外において前記有利状態に制御されない可変表示が実行される場合に前記第１可変表示特定信号を出力するとともに前記第２可変表示特定信号を出力し（例えば、図８－２２に示すように、非スペシャルゾーン中の変動表示結果がハズレとなる変動表示においては、該変動表示の終了タイミングにおいて特殊図柄確定信号を出力し、スペシャルゾーン中の変動表示結果がハズレとなる変動表示においては、該変動表示の終了タイミングにおいて特殊図柄確定信号を出力しない部分）、

前記所定期間内において前記有利状態に制御される可変表示が実行される場合と前記所定期間外において前記有利状態に制御される可変表示が実行される場合に前記第１可変表示特定信号を出力するとともに前記第２可変表示特定信号を出力する、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、特定報知演出の実行に対応した信号を出力できる。

本発明の手段１の遊技機は、

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当り遊技状態）に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機１）であって、

前記有利状態に制御するか否かを決定する決定手段（例えば、ＣＰＵ１０３が特別図柄プロセス処理を実行する部分）と、

演出を実行可能な演出実行手段（例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０が演出制御プロセス処理を実行する部分）と、

可変表示の実行を特定可能な特殊可変表示特定信号（例えば、図８－８に示す特殊図柄確定信号）を出力可能な信号出力手段（例えば、ＣＰＵ１０３が図８－１２に示す特別図柄停止処理の１１３ＳＧＳ２０９や１１３ＳＧＳ２２０、１１３ＳＧＳ２２１の処理を実行する部分）と、

を備え、

前記演出実行手段は、所定期間（例えば、スペシャルゾーン中）内に前記決定手段によ

って前記有利状態に制御することが決定されたことに基づいて、該所定期間の経過後に前記有利状態に制御されることを報知する特定報知演出（例えば、図 8 - 22 に示すように、スペシャルゾーン中に変動表示結果が大当たりであり且つ大当たり種別が確変大当たり B や非確変大当たりである場合に、当該変動表示においてスペシャルゾーンを終了した後に小図柄や飾り図柄を大当たりを示す組み合わせで導出表示する部分）を実行可能であり、

前記信号出力手段は、前記所定期間内では可変表示に対応した前記特殊可変表示特定信号を出力せず、前記所定期間外では可変表示に対応した前記特殊可変表示特定信号を出力する（例えば、図 8 - 22 に示すように、非スペシャルゾーン中の変動表示結果がハズレとなる変動表示においては、該変動表示の終了タイミングにおいて特殊図柄確定信号を出力し、スペシャルゾーン中の変動表示結果がハズレとなる変動表示においては、該変動表示の終了タイミングにおいて特殊図柄確定信号を出力しない部分）ことを特徴としている。

この特徴によれば、特定報知演出の実行に対応した信号を出力できる。